

Brown Bag Seminar



ブラウンバックセミナー

録画期間限定公開
オンライン (Zoom)

2021.12.15

(水)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

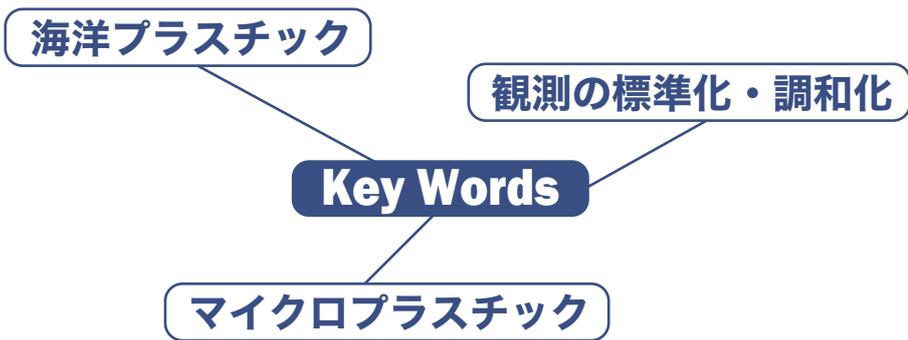
- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_0MBf9dJcRnWNG3kXJHVILA

海洋プラスチック汚染研究について

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

海洋プラスチック汚染研究の現状と現在の課題、そして今後の展開について概説します。特にマイクロプラスチック観測の標準化の経緯や数値モデルによる将来予測について解説します。



磯辺 篤彦 教授

応用力学研究所 附属大気海洋環境研究センター

1964年、滋賀県生まれ。88年愛媛大学大学院修士課程修了。九州大学助教授、愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授などを経て、現在、九州大学応用力学研究所教授・博士(理学)。専門は海洋物理学で、海洋プラスチック研究の第一人者として、環境省の研究プロジェクト、科研費基盤研究Sや、国際協力機構と科学技術振興機構の研究プロジェクトでリーダーを務めています。国内では環境省・海岸漂着物対策専門家会議の座長、国外では国際科学会議・海洋科学委員会・海洋プラスチックごみ作業部会や、国連環境計画・科学諮問委員会の委員。環境大臣賞環境保全功労者表彰(2018年)、内閣総理大臣賞海洋立国推進功労者表彰(2019年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2020年)を受賞しました。近著に「海洋プラスチック問題の真実—マイクロプラスチックの実態と未来予測」(化学同人/DOJIN選書)があります。